

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公表番号】特表2016-515467(P2016-515467A)

【公表日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-033

【出願番号】特願2016-509141(P2016-509141)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/36 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/36

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月12日(2017.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象の鼻組織を刺激するためのデバイスであって、

刺激装置本体と、

前記刺激装置本体に接続された刺激装置プローブであって、鼻挿入プロングを備える、
刺激装置プローブと、を備え、

前記刺激装置本体が、前記刺激装置プローブを介して前記対象に送達される刺激を制御
する制御サブシステムを備える、前記デバイス。

【請求項2】

前記刺激装置プローブが、少なくとも2つの鼻挿入プロングを備える、請求項1に記載
の前記デバイス。

【請求項3】

前記少なくとも2つの鼻挿入プロングが、前記対象の鼻孔に挿入されると自己整列する
、請求項2に記載の前記デバイス。

【請求項4】

前記刺激装置プローブが、少なくとも1つの電極を備える、請求項1に記載の前記デバ
イス。

【請求項5】

前記刺激が電気的である、請求項4に記載の前記デバイス。

【請求項6】

前記電極がヒドロゲルを含む、請求項5に記載の前記デバイス。

【請求項7】

前記電極が、白金、白金-イリジウム、金、またはステンレス鋼のうちの1つ以上を含
む、請求項5に記載の前記デバイス。

【請求項8】

前記刺激が2相性パルス波形である、請求項5に記載の前記デバイス。

【請求項9】

前記2相性パルス波形が対称である、請求項8に記載の前記デバイス。

【請求項10】

前記2相性パルス波形の周波数が、20Hz～80Hzである、請求項8に記載の前記

デバイス。

【請求項 1 1】

前記刺激装置プローブが、前記刺激装置本体に解放可能に接続される、請求項 1 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 2】

前記デバイスが、前記刺激装置プローブが前記刺激装置本体から切斷された後に前記刺激装置本体に再接続されるとき、前記対象への刺激送達を阻止する、無効化機構を備える、請求項 1 1 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 3】

前記デバイスが、前記刺激装置プローブが前記刺激装置本体から切斷された後に前記刺激装置本体に再接続されることを阻止する、ロックアウト機構を備える、請求項 1 1 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 4】

前記刺激装置本体が再使用可能であり、前記刺激装置プローブが使い捨てである、請求項 1 1 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 5】

取り外し可能な保護キャップをさらに備える、請求項 1 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 6】

ユーザインターフェースをさらに備える、請求項 1 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 7】

前記ユーザインターフェースが、前記刺激の 1 つ以上のパラメータを調整する 1 つ以上の動作機構を備える、請求項 1 6 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 8】

前記ユーザインターフェースが、1 つ以上のフィードバック要素を備える、請求項 1 6 に記載の前記デバイス。

【請求項 1 9】

対象の鼻組織を刺激するためのシステムであって、

刺激装置であって、

鼻挿入プロングを備える刺激装置プローブ、ならびに

充電式の動力源、及び前記鼻挿入プロングを介して前記対象に送達される刺激を制御する制御サブシステムを備える、刺激装置本体を備える、刺激装置と、

前記充電式の動力源を充電するベースステーションと、を備える、システム。

【請求項 2 0】

前記刺激装置が、データを記憶するメモリを備え、前記ベースステーションが、前記刺激装置からデータを取り出すように構成される、請求項 1 9 に記載の前記システム。

【請求項 2 1】

前記刺激装置プローブが、前記刺激装置本体に取り外し可能に接続でき、前記刺激装置プローブが、前記刺激装置本体に接続されているときに前記充電式の動力源へのアクセスを遮断する、請求項 1 9 に記載の前記システム。